

こんにちは!

# 村立東海病院



## 最新技術を生かしたX線撮影装置をご紹介します

村立東海病院の放射線室では、外来を受診する患者さんや入院中の患者さん、また手術に関する撮影と画像検査を行っています。画像検査は、一般X線撮影検査やCT検査、MRI検査など、さまざまな種類があります。

今回は、検査室への移動が困難な方なども撮影できるよう、昨年10月に導入した「新型ポータブルX線撮影装置」についてご紹介します。

### 患者さんの負担を軽減します!「新型ポータブルX線撮影装置」

これまで使用していた装置は、フィルムが入った板を撮影部位の下に挿入し、撮影した後に画像を読み取る作業が必要でした。しかし、「新型ポータブルX線撮影装置」は、撮影後すぐに搭載されたモニターに画像が表示されます。そのため作業効率が向上し、より早い検査や診断が可能となり、患者さんの負担軽減にもつながっています。

また、薄型でより鮮明に画像を写し出すことができる装置である「FPD(フラットパネルディスプレイ)」や、最新の画像処理技術である「Virtual Grid(バーチャルグリッド)」を使用することで、以前に比べて、低被ばくで質の高い画像を撮影することが可能となりました。



#### 【こんなとき、役に立ちます!】

▽ベッドからの移動が困難な方の撮影   ▽外来や救急室において緊急を要する方の撮影   ▽手術中や手術後のベッド上での撮影



▼名称等…富士フィルムメディカル製「CALNEO Go」

▼サイズ(幅×長さ×高さ)…56センチメートル  
×128センチメートル×127センチメートル

▼質量…440キログラム



今回ご紹介した「新型ポータブルX線撮影装置」をはじめ、医療機器は日々進化しています。私たち診療放射線技師は、これらの最新技術を生かし患者さんが安心して検査を受けられるよう、これからも努めていきます。

村立東海病院 診療放射線技師 豊田美希

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、地域福祉課地域医療推進担当(☎282-1711 内線1138)